

ねっとわーく

市町村のページ〔特集：特色ある公民館活動〕

- ・ 土曜日や夜間に開講した「3T講座」の試み
～公民館サービスをより多くの方へ～
……福岡市若久公民館
- ・ 次代を担う子ども達の活動の育成・充実をめざして
……中間市中央公民館
- ・ たていしぼうさいプロジェクト
～私たちのまちの減災をめざして～
……朝倉市立石コミュニティセンター
- ・ 子どもの笑顔が集う場所
……築上町コミュニティセンターソピア

こちら県公連

- ・ 令和元年度公民館実践交流会事業報告

令和元年3月 公民館情報通巻146号

発行 福岡県公民館連合会

〒812-8575

福岡市博多区東公園7-7

福岡県教育庁教育振興部社会教育課内

TEL 092-643-3887

FAX 092-643-3889

特色ある公民館活動



ヨガ教室
〈若久公民館〉



たこづくり教室
〈中間市中央公民館〉



たていしぼうさい塾
〈立石コミュニティセンター〉



ソーメン流し
〈築上町コミュニティセンターソピア〉

土曜日や夜間に開講した「3T講座」の試み ～公民館サービスをより多くの方へ～

福岡市若久公民館

【地域の概況】

福岡市南区にある若久校区は、福岡市中心部へのアクセスもよく、更には鴻巣山の南斜面や若久住吉神社を包む森もあり、緑も豊かです。人口は1万1千余人。65歳以上の高齢化率は20%ですが、子育て世代も多い校区です。

「土曜日や夜間に講座があれば参加できるのですが」との声をしばしば耳にしました。特に仕事をお持ちの女性の方々の声です。このような方々へも公民館サービスをお届けしたいと、平成28年度から新たな講座を開設しました。

【活動内容】

「3T講座」と名付けて、日中だけではなく、平日・土曜の夜間にも開講。「3T」のTとは「楽しい」「ためになる」「得する」の頭文字のTです。

「ヨガ教室」「パン教室」「コケ玉づくり」「美容教室」「カラーコーディネート講座」「フラワーアレンジメント講座」「アス飯講座(アスリートのための食事学)」など。

【成果と今後】

より多くの方に公民館サービスをお届けしたいとの思いから企画した「3T講座」でした。

「仕事をしている関係で平日の日中は参加できなかったのですが、夜の講座だったので参加できました。」

「サッカーをしているわが子にとって、必要な栄養素や食材の選び方など参考になりました。食生活を見直していきたいです。」

「一緒に参加した方と楽しく会話をしながらの講座で、新しいお友達ができました。」

「あっという間の時間でした。こんなに集中したのは久しぶりでした。」などなど。このような感想を参加者からいただきました。

普段受講できなかった方々や初めて公民館講座に参加された方々が、楽しんでいただけたことは私たちにとって嬉しいことでした。また、それを成果だと受け止めています。

今後は、土曜や平日の夜に開講するこの「3T講座」を充実させること、更には、より多くの方に公民館サービスをお届けしたいとの発想のもと、もう一歩進めて、公民館を飛び出しての「サテライト講座」を試みたいと思っています。



フラワーアレンジメント講座



ヨガ教室

【問合せ先】 福岡市若久公民館

〒815-0042 福岡市南区若久1丁目-11-20

TEL 092-541-4200 FAX 092-541-4208

次代を担う子ども達の活動の育成・充実をめざして

中間市中央公民館

【はじめに】

福岡県北部、遠賀川の下流に位置する中間市。市の中央を遠賀川が流れ、川の東側は主に住宅地、西側は自然あふれる地域で構成されている4km四方のコンパクトな街です。今回は、遠賀川河川敷で行っている「ふるさと遠賀川親子たこあげ大会」をご紹介します。

【取組について】

中間市中央公民館では、成人講座や小学生を対象とした講座等ライフステージに応じた事業を行うとともに、各種団体の事務局も担い、団体の行事等のサポートを行っています。

中間市子ども会育成連絡協議会が1月末に行っている「ふるさと遠賀川親子たこあげ大会」は、今年で39回を数える歴史のあるイベント。市内だけでなく県外も含め400人以上が参加する中間市の冬の風物詩ともいえる行事の一つです。小学生や保護者だけでなく、幼児から年長者まで様々な年代の方が参加するので、世代間や地域の交流の場ともなっています。会場では、風を捉まえて高く上げようと工夫したり、親子で河川敷を走り回ったりするなど歓声が響き渡り、直径2M近い大凾や仕掛け凾、連凾などたくさんの自作の凾が冬の空を舞います。大会では、凾をあげるだけでなく、創作凾コンテストを行い、審査員が凾の「デザイン性」や「飛揚性」等をもとに賞を決め、表彰を行っています。この大会の企画から運営は、子ども達が中心となって進めていっています。前年度の反省をもとに改善点を話し合ったり、役割分担をしたりするなど、ジュニアリーダーのサポートを受けながら、大会の成功に向け子どもたちは自主的に活動をしていきますので、「たこあげ」という日本の伝統文化を継承するだけでなく、大会の運営方法を学ぶ貴重な経験の場ともなっています。また、12月には「親子たこづくり教室」を開催し、凾作りのサポートも行っています。この教室にも多くの子ども達が参加し、たこあげ大会を意識しながら、干支やキャラクターなど思い思いの凾を作っています。

子ども達が中間市の良さや自分の成長を感じるたこあげ大会に、皆さんも参加しませんか。市販の凾での参加もOKですし、見学だけでも歓迎です。お待ちしております。



広報の表紙を飾った
たこあげ大会



たこづくり教室

【問合せ先】 中間市中央公民館

〒809-0013 中間市蓮花寺三丁目1-1

TEL 093-246-2321

FAX 093-246-0277

たていしぼうさいプロジェクト～私たちのまちの減災をめざして～

朝倉市立石コミュニティセンター

【地域の概要及び経緯】

朝倉市は、福岡県の中央部に位置する、人口 53,000 人の水と緑のまちです。立石地区は、人口 10,651 人、世帯数 4,160 世帯、農地が新興住宅地に変わり、スーパー・ショッピングセンター・総合病院などがあるため住みやすく、朝倉市内外からの転入者が多い地区です。

朝倉市では、平成 23 年度に各コミュニティに自主防災組織を立ち上げ、備蓄品の蓄えや要支援者名簿の作成などを進めていました。このような状況で、九州北部豪雨災害を体験しました。立石地区でも、6 時間で 500mm 弱の降雨があり、避難指示が発令されていたにも関わらず、市役所からセンターへの連絡等は一切なく、防災無線も全く聞こえず、テレビ局からの取材依頼で初めて深刻な状況だという事を知りました。最終的には、道路の陥没や床上浸水など 50 箇所程度被害がありましたが、大きな被害を受けずに済みました。「緊急時に行政は頼れない」「自分たちの地域は自分達で守る」ということを認識させられた豪雨災害でした。

【活動内容】

この災害後、すぐにコミュニティ役員会では、防災業務計画の見直しや、「災害対応バルクシステム(資源エネルギー庁補助金を受託しガスで電力等を賄うシステム)の導入」を行いました。また、「何を準備したらよいのか解らない」という住民の声に、「2019 年立石地区防災対策ガイド」を独自に作成し、平成 31 年 1 月全戸に配布しました。家族で避難場所や必要な支援を話し合い地域に上げる、「自助⇒共助ボトムアップ型」での支援体制作りを目指す手引書です。今年度は、福岡県地域安全協会とタイアップし、「たていしぼうさい塾(6回連続の防災リーダー養成講座)」を実施しました。この塾は、地域防災の担い手を養成する講座で、基礎知識から避難所運営までワークショップ形式で学習し、人材育成の循環を図っていかうと考えています。



たていしぼうさい塾の様子



立石地区防災対策ガイド

【成果と課題】

大変嬉しいことに、この塾の参加者が、自主的に地元で講座を企画し、既に今年度 6 箇所も開催されています。また、塾生の中からリーダーとなりうる人材にコミュニティ協議会で費用を負担し防災士養成を受講してもらい、自主防災組織の核となってもらっています。「地域社会の担い手を育むには？」と試行錯誤の毎日ですが、「学び」により循環を生み出して行くことこそが、社会教育の務めと考えています。

【問合せ先】 朝倉市立石コミュニティセンター

〒838-0064 朝倉市頓田 205-1 電話/FAX:0946-22-2101

E-mail: tateisi-com@city.asakura.lg.jp

子どもの笑顔が集う場所

築上町コミュニティセンターソピア

【地域の概要及び経緯】

築上町は、福岡県の東部に位置し、北は行橋市、西はみやこ町、東は豊前市、南は大分県に接しています。南はほとんど山林で占められており、そこを源とする多くの河川が北部の平野を潤し、周防灘に注いでいます。

築上町では、コミュニティセンターソピアを拠点として、アンビシャス広場を開設し、青少年の健全育成のため様々な活動を行っています。

【活動内容】

主な活動内容は、毎週月水木曜日の3日間午後3時～5時まで、小中学生が放課後気楽に立ち寄れる居場所として開設し、自由に遊んだり、読書をしたり、子どもの自主性に任せ、大人は見守りながら過ごします。

遊びを通して小中学生が教えあい異年齢の交流ができています。また、読書の傍らで宿題をする子もいて、和気あいあいと笑顔がはじける時間を過ごしています。

夏休み期間には、おもしろ体験教室として、習字教室、クッキング教室、絵画教室、手作り工作教室、ソーメン流し体験教室を開催しています。絵画教室、手作り工作教室では、元美術教師の先生が丁寧に指導してくれますので、子どもだけでなく、参加している大人も勉強になります。クッキング教室では、弁当箱を持参し自らの手でおかずを作り、盛り付けます。ソーメン流しは、竹を組み立てソーメンが下まで流れるように作ります。出来あがると箸とつけ汁をもって、流れてくるソーメンをワイワイ言いながら食べています。

毎年6月には、アンビシャス広場主催の6泊7日の通学合宿も実施しています。

【成果と課題】

成果としては、①子どもたちの自主性が養われた。②中学生が小学生に指導等を行うことにより、学校では得ることができない中学生と小学生という異年齢の交流ができた。

課題として、①指導者の高齢化が進んでいる。②如何にして後継者を作るかを考え、取り組んでいかなければならない。



【弁当作りの様子】



【ソーメン流しの様子】

【問合せ先】 築上町コミュニティセンターソピア
〒829-0102 築上郡築上町大字築城 253 番地 1
TEL 0930-52-0066 FAX 0930-52-2484

令和元年度 福岡県公民館実践交流会 ～ 報告 ～

■実践交流会の概要

令和2年1月22日（水）に、宗像ユリックス（宗像市）にて令和元年度福岡県公民館実践交流会を開催しました。当日は、県内各地から856名の公民館等関係者に御参加いただきました。

開会行事、事業説明の後は、本年度のテーマ「持続可能な地域づくりに向けた公民館活動の在り方」のもと、「家庭教育」や「学社連携・融合」、「ボランティア活動」など8分野、12事例の実践発表を4会場に分かれて実施しました。どの会場でも、活発な意見交換や情報交換が行われました。

■交流会を通して

参加者は、各地域の魅力を生かした取組をはじめ、地域独自の課題に対する取組や人材育成に対する取組など、とても有意義な情報が得られたようでした。また、発表者からも「これまでの実践を振り返る良い機会になった」との感想をいただきました。アンケートにも回答者の99%の方から「大変参考になった」「参考になった」という肯定的な評価をいただきました。

本実践交流会を通して、「実態の分析と目標の共有」や「学校やボランティアなどの関係機関との連携・協働」、「後継者の育成」、「多世代での取組」など、持続可能な地域づくりに向け、大切にしたい視点が明確になり、参加者にとって、現在の取組を見直したり、今後の取組を考えていったりしていく材料のひとつになったのではないかと考えています。

■来年度の実践交流会

次年度は令和3年1月29日（金）、会場を本年度と同じ「宗像ユリックス」にて開催する予定としております。たくさんの御参加をお待ちしております。

■最後に

このような成果が得られたのは、貴重な実践を提供いただいた公民館等関係者の皆様のおかげです。また、その実践を通して、地域をさらによりよくしたいという思いやそれを実現させようとしている様々な工夫など、熱心に交流会に臨んでいただいた皆様のおかげです。この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。



【福岡県公民館連合会会長挨拶】



【福岡県公民館連合会事業報告】



【第1分科会会場】



【第2分科会会場】



【第3分科会会場】



【第4分科会会場】